

令和2年度 事業報告書

自 令和 2年 4月 1日
至 令和 3年 3月 31日

公益財団法人 明石文化国際創生財団

令和2年度 公益財団法人明石文化国際創生財団 事業報告書

令和2年度は公益法人として10年目の区切りの年でしたが、ご承知のとおり新型コロナウイルス感染症の甚大な影響を受け、公益目的事業の文化芸術及び国際交流のいずれについても、計画書に掲げた事業の多くを中止や延期せざるを得ない状況となってしまいました。

ただ、このような状況だからこそ、市民の元気や希望につながるよう、明石における文化芸術の振興と国際交流の推進を図り、心豊かでうまいとやすらぎのある市民生活の実現と多様性を尊重した国際性豊かな市民文化を創生し、個性豊かで活力のある地域社会の発展に寄与するため、できる限りの公益事業の実施に努めました。

- | |
|-------------------|
| 1. 公益目的事業 |
| 公1 文化芸術推進事業 |
| 公2 国際交流推進事業 |
| 2. その他事業等 |
| 他1 明石フィルハーモニー支援事業 |

1 公益目的事業

公1 文化芸術推進事業

地域住民の文化的、芸術的な活動を推進し、賑わいのあるまちづくりを一層進めるため、明石市とも連携し、次の事業を推進しました。

1 文化芸術事業の開催

地域の空間や施設を活用し幅広い分野の文化芸術を鑑賞・体験できるイベントや明石ゆかりの美術作家の作品展などを開催し、市民への文化芸術の鑑賞機会の提供や創作活動を行っている個人・グループへの支援を行いました。

(1) コンサート等

① あかしふれあいコンサートの開催

音楽を通じた賑わいのあるまちづくりや次世代育成の一環として開催し、まちかどにおける中高生などによる吹奏楽等の演奏を鑑賞する機会を広く提供しました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、3密防止、体温チェックや消毒液の設置など、感染症対策を講じて開催しました。

[開催日及び出演者] 毎月1回、原則週末(土曜、日曜)の午後

- ① 4月18日(土) 大久保中学校(中止)
- ② 5月2日(土) 魚住東中学校(中止)
- ③ 6月20日(土) 魚住東中学校(中止)
- ④ 8月29日(土) 高丘中学校※
- ⑤ 9月19日(日) 大久保北中学校※
- ⑥ 10月17日(土) 朝霧中学校
- ⑦ 11月21日(土) 明石北高校
- ⑧ 12月26日(土) 石田さと子・池松郁・永田直子
- ⑨ 1月16日(土) 二見中学校(中止)※
- ⑩ 2月20日(土) 錦城中学校(中止)
- ⑪ 3月6日(土) 沢池ミュージックバンド(中止)

(計 実施5回・中止6回)

[開催場所] あかし市民広場及びイオン明石「SEA PARK」※

[観客] 一般市民 延べ 約800人

② ひとつぶのたねクラシックコンサート・親子のためのひとつぶのたねミニコンサート

明石市立市民会館との共催により演奏会を開催し、愛好家が減少しているクラシック音楽を気軽に鑑賞できる機会を市民に提供するとともに、明石にゆかりのある若手音楽家の活動の発表機会としました。

7月～12月(9月除く。)の開催については、新型コロナウイルス感染症の影響により、無観客演奏とし、オンライン配信を行いました。

2月、3月については、観客も半数程度に限定するなど感染症対策を講じるとともに、午前

中に予定していた親子のためのひとつぶのたねミニコンサートは中止しました。

[開催日及び出演者] クラシック系音楽家の出演

- ① 5月 9日 (土) ピアノ：鯛中卓也 (中止)
- ② 6月 13日 (土) ヴァイオリン：福島令奈・ピアノ：黒田麻友 (中止)
- ③ 7月 11日 (土) クラリネット：新居遥輔 (オンライン)
- ④ 8月 8日 (土) ギター：熊谷朋久 (オンライン)
- ⑤ 9月 12日 (土) 中止
- ⑥ 10月 10日 (土) ジャズピアノ：尾原やよい (オンライン)
- ⑦ 11月 14日 (土) テノール：諏訪部匡司・明石弦楽オペラ会 (オンライン)
- ⑧ 12月 12日 (土) ファゴット：野崎実果 (オンライン)
- ⑨ 1月 9日 (土) 中止
- ⑩ 2月 13日 (土) ヴァイオリン：福島令奈・ピアノ：高木理枝子
- ⑪ 3月 13日 (土) ピアノ：鯛中卓也

(計 実施2回、オンライン5回、中止4回)

[開催場所及び開催時刻] 明石市立市民ホール

14時～14時45分

[入場者] 一般市民 約100人 (開催2回分)

③ フレッシュコンサート

音楽大学在学中の市内在住或いは出身者である音楽家の卵たちの演奏会を開催し、出演者の研鑽意欲を喚起するとともに、澁刺とした演奏を市民に披露しました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、時期や会場を変更し、観客数を半数程度に限定するなど感染症対策を講じて開催しました。

[開催日] 2月28日(日)

[開催場所] 明石市立市民ホール

[出演者] 市内在住・出身の音楽大学在学中の学生5名

[入場者] 一般市民 58名

④ スーパーキッズ・オーケストラ明石公演

兵庫県芸術文化センターのソフト事業であるスーパーキッズ・オーケストラの演奏会を、入場者数を半数以下に限定し、体温チェックなど、感染症対策を講じて開催しました。今回は、佐渡裕氏自身による指揮で、クオリティの高い純粋な音楽を、子どもたちから幅広い世代で楽しめる演奏会となりました。

[開催日] 12月20日(日)

[開催場所] 明石市立市民会館大ホール

[出演者] 佐渡裕氏、スーパーキッズ・オーケストラ

[入場者] 一般市民約400名

⑤ 吹奏楽の夕べ (明石市芸術祭)

市内で活動する吹奏楽団体が一堂に会した演奏会を明石市芸術祭の一つとして開催し、広く市民が音楽を楽しむ機会を提供する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止しました。

[開催予定日] 8月23日(日) 中止

[開催予定場所] 明石市民会館大ホール

[出演予定者] 小・中・高・一般の吹奏楽部、吹奏楽団約25団体

⑥ 音楽のつどい (明石市芸術祭)

市内外で活動する合唱団体が一堂に会し、明石市芸術祭として日頃の練習成果を広く市民に披露する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止しました。

[開催予定日] 11月3日(日・祝)中止
[開催予定場所] 明石市民会館大ホール
[出演予定者] 市内外で活動する合唱団体29団体

⑦ 100人で海に向かって大声で歌う会

中学・高校生時代に合唱した懐かしい曲を合唱する会を開催します。普段、合唱をする機会の少なくなった世代の参加者を中心に市民の音楽交流を深める予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止しました。

[開催予定日] 5月16日(土)中止
[開催予定場所] 中崎展望広場
[出演予定者] 市民約100人

(2) 美術展、作品展等

① 第13回 明石文化国際創生財団 MERIDIAN 美術展

市内出身のアーティストの作品展を開催し、広く市民に明石にゆかりのあるアーティストを紹介するとともに、広く市民に美術作品の鑑賞機会を提供しました。

[開催日] 10月29日(木)～11月8日(日)
[開催場所] 明石市立文化博物館ギャラリー
[出展者] 書家 岩坂典子
[入場者] 一般市民 約540人

② 第14回 明石文化国際創生財団 MERIDIAN 美術展

明石市にゆかりのある有望な若手アーティストを顕彰する「明石文化国際創生財団 MERIDIAN 芸術賞」の創設記念賞を贈呈した市内在住の画家・絵本作家たなかしん作品展を開催し、広く市民に美術作品の鑑賞機会を提供しました。

[開催日] 3月13日(土)～3月23日(火)
[開催場所] 明石市立文化博物館ギャラリー
[出展者] 画家・絵本作家 たなかしん
[入場者] 一般市民 約1,200人

③ スマイルギャラリーでの作品展示

明石市内外で創作活動を行っている美術愛好家に作品展示を行う場を提供するとともに、広く市民に美術作品の鑑賞機会を提供しました。

[開催日] 4月2日～4月30日「松岡景子作品展」から
2月27日～3月30日「ごとうゆきスケッチ画展」まで
計14回開催(中止1回)

[開催場所] スマイルギャラリー(アスパシア明石3階連絡通路)
[出展者] 近隣の美術作家など
[入場者] 不特定多数の一般市民

(3) 創作活動の発表機会の提供

① 次世代アーティスト支援事業

新型コロナウイルスにより大きな影響を受けている文化芸術分野において、次代を担うべき将来有望なアーティストの活動を支援することにより、多様なジャンルのアート活動を広く市民が体感・体験できる機会を提供しました。

○ アートを体験するワークショップ

広く市民がアートに触れ、アートを身近に体験できる機会として、市内外の多様な分野のアーティストの特長を生かしたワークショップを開催しようとしたのですが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止しました。

[開催予定日] 7月4日(土)中止
[開催予定場所] アスピア明石アトリウムコート
[出演予定者] 市内外で活動するアーティスト

○ 舞台演劇

舞台演劇の振興と市民への演劇鑑賞機会の提供のため、市内で演劇活動を行っている者等による舞台演劇イベントの開催を計画していましたが、新型コロナウイルスの影響により、オンライン芝居として無料のライブ配信を行いました。

[配信日] 前編：12月5日(土)、後編：12月12日(土)
[出演者] 市内で活動又は市内出身の舞台演劇関係者
[視聴者] 一般市民

○ ヘッドアートプロジェクトチーム支援事業

ヘッドアートプロジェクトチームと協力し、明石からジャンルにとらわれないアート表現のひとつとして「ヘッドアート」関連事業を開催し、その芸術性を世界へ発信しました。

・ ヘッドアートフォトコンテスト及び入賞作品展

ヘッドアートに特化したフォトコンテストについて、新型コロナウイルス感染症の影響により、会期を延期して開催しました。全国から作品を公募し、受賞作品を明石駅などに展示するとともに、作品の芸術性の高さを広く市民に披露しました。

[作品募集期間] 8月1日～10月24日 作品展示12月

[応募作品] 全国のメイク、フォト、デザイン等の関係者から206作品の応募

[入賞作品展示場所] 明石駅構内及びスマイルギャラリー

・ ヘッドアートコレクション

フォトコンテスト入賞者による実演披露でのオーディション、プロによるデモンストレーション、フォトコンテスト過去入賞作品の展示等、様々なコンテンツによるヘッドアートコレクションの開催は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止しました。

[開催予定日] 12月13日(日)中止

[開催予定場所] 明石市立市民会館大ホール

○ 明石アーティスト協会支援事業

明石の文化芸術の発展と市内で活動するアーティストのネットワーク構築のため、計画していた、分野を超えたアーティスト競演による公演事業は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止し、舞台をオンライン配信しました。

[配信日] 7月、10月、3月

[主な内容] 「まち子おばあちゃんの音はなしの時間」
たなかしん原作の朗読に合わせたタップダンス動画

[撮影場所] 町劇Akashi bb

[出演者] 明石アーティスト協会

[視聴者] 一般市民

○ 若手演奏家クラシックコンサート

若手クラシック演奏家による「明石クラシックコンサート」を、入場者数を半数以下に限定し、体温チェックなど、感染症対策を講じて開催しました。若手クラシック演奏家の発表機会の提供とともに、明石におけるクラシック音楽の普及と聴衆の拡大に寄与しました。

[開催日] 2月27日(土)

[開催場所] 明石市立西部市民会館

[出演者] 坂本彩(ピアノ)、黒川侑(ヴァイオリン)、小峰航一(ヴィオラ)、
向井航(チェロ)

[入場者] 一般市民 約170人

② 明石市合同芸術祭

明石市文化団体連合会の団体間の連携や相乗効果により、それぞれの活動の一層の活性化を図るため、2019年度に引き続き、明石市芸術祭の合同開催を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止しました。

[開催予定日] 11月7日(土)、8日(日)

[主な内容] ・ダンスアート ・いけばな展 ・お茶会 ・民謡民舞と邦楽のつどい

[開催予定場所] 複合型交流拠点 ウィズあかし

[出演予定者] 明石市文化団体連合会所属の15団体を中心とする文化グループ

[入場者] 一般市民

(4) 創作活動のコンテストの開催

① 明石市美術展(明石市芸術祭)

広く市内外から作品を公募し、市長賞をはじめとする賞に該当する優秀な作品を選出するとともに、明石市芸術祭として入選作品展の開催を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止しました。

[募集予定期間] 6月～11月

[応募予定者] 美術作品の創作活動を行っている者、ジュニアの部：小・中学生

[募集作品] 洋画、日本画、書道、彫刻・工芸、写真の5部門

ジュニアの部は書道、絵画の2部門

[開催予定場所] 明石市立文化博物館ギャラリー

[作品展開催予定期間] ジュニア：11月26日(木)～29日(日)

前期：12月2日(水)～6日(日) 日本画・彫刻工芸・書道

後期：12月9日(水)～13日(日) 洋画・写真

[表彰式予定日] 12月12日(土) 明石市立文化博物館

② 明石市文芸祭

広く市内外から作品を公募し、市長賞をはじめとする賞に該当する優秀な作品の選出及び表彰式の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止しました。

[募集予定期間] 7月1日(水)～9月1日(火)

[応募予定者] 文芸作品の創作活動を行っている者、ジュニアの部：小・中学生

[募集作品] 俳句、川柳、短歌、詩、随筆、小説、児童文学の7部門

ジュニアの部は俳句、川柳、短歌の3部門

[表彰式・講評会] 3月20日(土・祝) 子午線ホールほか

③ キッズ青空のど自慢大会

「子どもの日」にちなみ、五月の青空のもと、生伴奏で歌う元気な明石っ子の歌声を広く市民に披露するのど自慢大会を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止しました。

[開催予定日] 5月5日(火・祝)

[開催予定場所] アスピア明石1階アトリウム

[出演予定者] 市内在住の子どもたち(幼・小・中・高生) 20組

[観客] 一般市民

④ 4×6 Compact Art Competition

コロナ禍のもと、美術作品の創作活動を行っている人へ発表機会を提供し、文化芸術の振興を図るため、Web限定でカードサイズの美術作品の公募展を行いました。応募作については、若手アーティストによる審査の上、優秀作を選考し、ホームページや機関誌等で公開しま

した。

- [募集期間] 9月8日(火)～11月4日(水)
- [応募作品] 309点
- [結果発表] 12月15日(火)
- [入賞作品] 最優秀賞 1点、優秀賞 1点、コンセプト賞 1点、クリエイティブ賞 1点
学生賞 1点、審査員賞 4点、入選 15点

⑤ オンライン俳句コンテスト

コロナ禍のもと、文芸作品の創作活動を行っている人へ発表機会を提供し、文化芸術の振興を図るため、Web限定でオリジナル俳句作品の公募を行いました。応募作については、専門家による審査の上、優秀作を選考し、ホームページや機関誌等で公開しました。

- [募集期間] 7月10日(金)～9月7日(月)
- [応募作品] 1,025点
- [結果発表] 11月20日(金)
- [入賞作品] 最優秀賞 1点、特別賞 3点、優秀賞 10点

(5) 学校での文化芸術の鑑賞機会の提供

① 学校へのたこフィル派遣事業

学校へたこフィル団員を派遣し、音楽の生演奏を子どもたちに提供する事業を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止しました。

- [開催予定日] 通年
- [派遣対象] 市立小・中・養護学校
- [派遣アーティスト] 明石フィルハーモニー管弦楽団の団員

2 文化芸術活動支援事業

多様な文化芸術の担い手が連携・協働する拠点としての緩やかな相互ネットワークの形成を図り、アーティストや文化団体、地域住民、行政とのコーディネートや、市民やアーティストのプラットフォーム機能の充実、情報提供、助成、相談など、中間支援組織としての役割を担い、地域の文化芸術の推進を図りました。

(1) コーディネート機能を充実させ、緩やかな相互ネットワークの形成を図る事業

① アートマネジメント講座

美術、音楽や演劇などでの展示方法や広報などを統一的にマネジメントし、より多くの人に、より質の高い芸術に触れる機会を提供できるようアートマネジメント講座の開催を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止しました。

② 文化芸術関係施設・機関ネットワーク会議

市内の主な文化芸術関係施設や機関による情報交換や連携のあり方を協議するネットワーク会議を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、一堂に会する会議は中止しました。

- [参加団体等] 明石文化国際創生財団、明石市立文化博物館、明石市民会館、
明石市立図書館、明石市立天文科学館、明石観光協会など

③ アート体験講座(オンラインアート教室: STAY HOME おうちでアート第3弾)

アーティストを講師に、若い世代を中心とした一般市民を対象として、様々なアート分野を体験する入門講座の開催を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止し、Web配信によるオンラインアート教室を開催しました。アーティストによる身近な素材を使ったオリジナル工作作品の作成動画をホームページで公開し、希望する市民等へ工作キットを送付することで、コロナ禍における文化芸術の振興を図りました。

[開催回数／動画配信期間／内容]

① 8月18日(火)～9月14日(月) 小野千賀子「ハロウィン 羊毛フェルト人形」

② 9月18日(金)～10月14日(水) ごとうゆき「クリスマス 粘土工作」

③ 10月18日(日)～11月14日(土) デッサン子午線 今井由美「正月 フェルト工作」

[申込件数] ① 16件(27セット)、② 37件(47セット)、③ 16件(25セット)

④ 文化芸術活動団体やイベントの実行委員会事務局の分担

それぞれの活動が潤滑に行われるよう明石文化団体連合会(明石市芸術祭)、明石薪能、明石市文芸祭などの実行委員会事務局等を担当しましたが、いずれの事業も新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止となりました。

⑤ むりえセットの提供(STAY HOME おうちでアート第1弾)

自宅で過ごす期間が長くなるなか、アーティストによるオリジナルむりえ作品を、ホームページで公開するとともに、希望する市民等へむりえセットとして送付することで、コロナ禍における文化芸術の振興を図りました。

[提供開始日] 4月28日(火)

[協力アーティスト] 9人

[申込(提供)者数] 197人

⑥ 週刊ちやる(STAY HOME おうちでアート第4弾)

イラストレーターのせんだちやる氏の長さ約2.5mの作品「うおのたな」を分割したむりえを作成し、週ごとにホームページで公開することで、コロナ禍における文化芸術の振興を図りました。

[掲載期間] 9月1日(火)～12月31日(木)

[掲載作品] 「魚の棚商店街全圖 2017」、番外編「ハーモニカ横丁」

(2) プラットホームの提供や情報共有により市民の活動を支援していく事業

① 機関紙・広報紙の発行

○ 財団機関紙「創生」の発行

財団の事業内容を広く広報するとともに、市民活動や市内の文化財などを紹介するため機関誌を発行しました。(vol.26 6月発行, vol.27 10月発行, vol.28 2月発行)

[発行部数] 各回3, 300部

[内容] vol.26では、明石文化団体連合会新会長紹介、おうちでアート事業紹介
vol.27では、Meridian美術展作家：前衛書道家・華道家「岩坂典子」紹介など
vol.28では、明石クラシックコンサート、「たなかしん作品展」紹介など

○ フリーペーパーの発行

財団主催事業に加え、市内で開催される各種文化芸術事業やアーティストの活動等を紹介し、市民の芸術活動への参加を促進しました。

[発行] 年6回(2、4、6、8、10、12、2月の隔月発行)

[発行数] 各回3, 000部

② 文化芸術情報の発信

○ メールマガジンの発信

市内で開催される各種文化芸術事業や財団事業、活躍するアーティスト等の情報を提供し、市民の芸術活動への参加を促しました。

[配信] 毎月配信

[配信先] 約1, 000件

○ ホームページの運営及び情報発信

誰にでも見やすいホームページとなるよう、リニューアルを進めるとともに、適時適切な情報の発信に努め、市民の文化芸術活動の推進に寄与しました。

○ SNS・動画の活用

財団のPR動画の作成など、文化芸術に関心のある若い世代にも、即時性の高い情報を届けられるようSNSや動画の一層の活用に取り組みました。

③ 文化芸術関係資料のデータベース化

「文化芸術あふれるまちづくり」の推進のため、意欲あるアーティストを登録し、イベント等の主催者に、登録アーティストの紹介など、明石の文化芸術関係資料のデータベース構築及び最新内容への更新に努め、ホームページで公開しました。

(3) 文化芸術活動に関する相談への助言、斡旋および助成を行う事業

① 文化芸術推進助成事業

明石市内における文化芸術活動を行うグループ・団体に事業の経費の一部を助成し、市民が文化芸術に触れ親しむ機会を増やし、明石における文化芸術の振興を図りました。

ただし、新型コロナウイルス感染症の影響により、7団体の助成事業が中止となりました。

[助成団体数] 17 団体

○ 1 期 10 団体

- ①AKP(明石ケーナプロジェクト)、②明石美術協会(中止)、③明石伝統芸能協会(中止)
- ④明石西シンフォニックバンド、⑤明石市吹奏楽連盟、⑥アート企画 d o s s o
- ⑦明石市いけばな協会(中止)、⑧明石合唱連盟(中止)、⑨まんまるあかし(中止)
- ⑩明石弦楽オペラ会(取下げ)

○ 2 期 7 団体

- ①エンゼルの郷、②明石邦楽協会、③合同発表会実行委員会
- ④めーろープロジェクト、⑤明石ジャズダンスファクトリー
- ⑥Prism Dance Studio、⑦Pieuvre Saxophone Ensemble

[助成金額] 525,000 円(交付決定額 926,000 円)

② 相談への助言、斡旋等

文化芸術に関する相談や問い合わせに対して、助言やアーティストの紹介、イベント情報の提供ほか、コロナ禍のもとでのイベント開催判断や感染症対策に関する参考資料等を提供しました。

[相談件数] 約 50 件

[主な相談内容] ・アーティストの紹介や美術作品の展示場所など美術関係
・ミュージシャンの紹介や演奏場所など音楽関係
・古書の寄贈先など文化財関係
・各種イベント等についての問い合わせ
・コロナ禍でのイベント開催判断や感染症対策 など

③ 後援名義の使用許可

後援名義の使用許可申請に対しての許可し、各種イベント・活動への支援を行いました。

[名義使用許可件数] 25 件

④ 若手アーティスト顕彰制度

若手アーティストの育成と明石の文化芸術の振興を目的として、明石にゆかりのある有望な若手アーティストを発掘し、顕彰する「明石文化国際創生財団 MERIDIAN芸術賞」を2019年度に創設しました。コロナ禍の影響もあり、2020年度の該当者はありませんでした。

⑤ アーティスト緊急支援事業（STAY HOME おうちでアート第2弾）

新型コロナウイルス感染症の影響により、活動の休止や縮小を余儀なくされている市内のアーティストに対する緊急支援として、インターネット等を通じた文化芸術の発信活動に助成金を交付し、コロナ禍における市内の文化芸術の振興を図りました。

[支援団体・者]

- ①トランク企画（演劇）、②Tap Dance Team mono-moon（タップダンス）
- ③たなか しん（画家・絵本作家）、④音のみちジャズコンサート実行委員会
- ⑤にじいろアート教室（絵画）

[助成金額] 240,000円

⑥ ちびっこアーティスト育成事業（Greatest Kid's Talent in Akashi）

子どもたちの芸術活動を支援するため、18歳以下の子どもたちの芸術活動動画を公募し、選考の上、優秀な10組にステージ発表機会を提供しました。ステージ発表者のなかから、最優秀賞等を選出し、表彰しました。

また、ステージ発表の動画を配信し、視聴者からの投票により視聴者賞を贈呈しました。

[募集期間] 9月1日～10月31日

[応募者] 市内・近隣市町在住の就学前の児童から高校生まで 54組

[最終審査] 1月24日（日）明石市立西部市民会館ホール

[表彰者] 最優秀賞 きずなな（ダンス） / 審査員賞 吉川礼菜（ピアノ）
特別賞 にぼし。（バンド） / 鈴木ほのみ（ピアノ）
視聴者賞 須磨学園弦楽V1（クラシック）

⑦ 文化芸術活動団体発表機会創出支援事業

明石市内で活動する各種文化芸術団体に対して、ウィズコロナ時代に適した形で発表する機会の創出を支援し、コロナ禍における市内の文化芸術の振興を図りました。

[支援団体]

- ①明石洋舞協会「Fight! コロナに負けるな」（2月28日（日）市民会館大ホール）
- ②明石伝統芸能協会「さくらまつり」（3月28日（日）あかし市民広場）

[支援金] 800,000円

公2 国際交流推進事業

市民の国際交流や多文化共生を推進し、多様性を尊重した国際性豊かな市民文化の創生に寄与するため、明石市と連携し、次の事業を推進しました。

1 国際理解に関する事業

国際交流に関する市民の関心を高め、世界各国の文化に対し理解を深めるため国際理解講座等を実施します。また、身近な地域で生活する留学生とのふれあい交流を行い、市民の国際感覚や国際理解を深める事業に取り組みました。

(1) 市民が国際理解を深めるための事業

① 国際理解セミナーの開催

異なる文化や生活習慣を持つ人々が、お互いを尊重し、ともに暮らすことができる地域社会の実現に向けて、外国人講師や有識者等から外国文化や外国人との交流について学ぶセミナーを開催しました。

- [開催時期] ①11月7日(土) 『世界を知ろう!ベトナム編』
②12月19日(土) 『英語で聞く 世界を知ろう!アメリカ編』
- [開催場所] 複合型交流拠点 ウィズあかし
- [参加者] 一般市民 約70名

② 世界の文化ワークショップの開催

市民の国際理解促進のため、世界のお酒、スパイス、香りの文化など、世界の文化を体感するワークショップの開催を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止しました。

(2) 市民と外国人との日本文化体験・交流事業

① 伝統行事体験

在住外国人が、市民団体主催の「もちつき大会」などに参加し、日本の伝統文化の体験を通じて地域住民と交流する事業を計画しましたが、多くの伝統行事が新型コロナウイルスの影響により中止となったため、実施できませんでした。

② 明石市内名所・旧跡観光ツアー

在住外国人と市民ボランティアが交流し、近郊の名所旧跡を訪ねる日本文化体験観光ツアー等を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止しました。

③ 日本文化鑑賞会・日本文化体験

市民と在住外国人を対象とした日本の伝統文化の鑑賞機会や、日本文化を体験する機会を提供し、交流の推進を計画していましたが、体験や鑑賞を予定していた行事が新型コロナウイルスの影響により中止となりました。

[体験等予定行事]

- ・明石市芸術祭合同開催(伝統文化の体験)
- ・明石薪能(伝統文化の鑑賞)

④ 子ども異文化体験

子どもたちを対象にライモーター(英語を使ったリズム体操)を実施し、体を動かしながら異文化を身近に感じる機会とする事業を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止しました。

(3) 広報活動の推進

① 広報紙の発行

財団機関紙「創生」により、国際交流事業を広く紹介するとともに、国際交流活動をされて

いる団体や個人を紹介し、市民の国際交流活動の推進を図りました。

[発行] 年3回

[発行部数] 各回3, 300部

② メールマガジンの発行

メールマガジンにより、市内の国際交流事業に加え、国際交流活動をされている団体や個人を紹介するなど、市民の国際交流活動の推進を図りました。

[配信] 毎月配信

[配信先] 約1, 000件

2 国際交流・協力に関する事業

外国人住民とのふれあい交流を深める事業の実施や国際交流・国際協力に取り組む地域の団体への事業支援を行いました。また、長く続く姉妹都市・友好都市との交流や国際交流事業ボランティアの支援や養成に取り組みました。

(1) 国際交流事業ボランティア支援・養成事業

① ボランティア募集・登録・派遣事業

市民主体の国際交流活動や外国人住民との交流事業を展開していくため、広報紙などによりボランティアを広く募集し、登録を行い、新型コロナウイルス感染症の影響を受けるなか、派遣先からの要請に応じて派遣しました。

[登録者数] 約200人

[募集方法] 広報紙、ホームページなど

[派遣先] 市内・近隣の学校、地域など

[主なボランティア活動の内容]

- ・ゲストティーチャー：学校での特別授業など
- ・ホームステイ（宿泊伴う）、ホームビジット（日帰り）：外国人を家庭に受け入れ
- ・翻訳：文書・パンフレットなどの翻訳
- ・通訳：外国人の子どもに対する学校への通訳派遣、訪問外国人に対する通訳など
- ・日本語学習支援：市内在住外国人を対象とした日本語の学習指導

[主な派遣実績]

- ・市内小学校へのボランティア派遣
- ・市内高等学校へのゲストティーチャーの派遣

② ボランティア養成講座

国際交流に関心や興味を持ち、ボランティアを目指す市民等を対象として、ボランティアの基礎知識を学ぶための養成講座の開催を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止しました。

③ 日本語学習支援養成講座

在住外国人を対象とした日本語学習支援講座の指導者の養成のため、感染症対策を講じた上で、指導者を志す人などを対象とした養成講座を開催しました。

[開催時期] 9月5日、12日、19日、26日、10月3日、10日（いずれも土曜日）

[講座時間] 合計30時間

[開催場所] 複合型交流拠点 ウィズあかし

[修了者] 一般市民等15名

④ 日本語学習支援ボランティアブラッシュアップ講座

在住外国人を対象とした日本語学習支援講座の指導者の指導力向上のため、感染症対策を講じた上で、日本語学習指導ボランティアを対象にブラッシュアップ講座を開催しましたが、緊急事態宣言の影響等により辞退者が多く発生しました。

- [開催時期] ① 1月16日(土) 申込者少数のため中止
② 1月23日(土) 受講者7名(申込者14名)
[開催場所] 複合型交流拠点 ウィズあかし

⑤ 語学ボランティアスキルアップ講座

ホストファミリー(ホームステイボランティアなど)や外国人市民のサポーターを志す人を対象に、他の国の言語や文化を学ぶ機会として、レベルに応じた語学ボランティアスキルアップ講座を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止しました。

[開催予定期間] 6月～12月 各20回程度

[開催予定場所] 複合型交流拠点 ウィズあかし

[対象者] ボランティアを志す一般市民

[予定講座] 翻訳・通訳コース(英語)、英会話講座(初級、初中級、中級)、中国語初級

(2) 国際交流活動の協力支援事業

① 国際交流活動助成事業

青少年の国際交流活動や在住外国人児童の居場所づくりなど、市内において国際交流や多文化共生に係る活動を行う団体を支援・促進するため、事業補助としての助成金を交付しました。

[助成団体数] ① 特定非営利活動法人 多文化共生センターまんまるあかし

② 神戸中国帰国者日本語教育ボランティア協会

③ 西明石日本語教室

[助成金額] 140,000円

(3) 姉妹都市・友好都市交流事業

① 姉妹都市・友好都市交流事業

明石市からの受託事業として、姉妹都市である米国バレホ市や友好都市である中国無錫市との市民間における交流活動の支援を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

3 多文化共生に関する事業

外国人住民が地域で安心して暮らせる環境整備を図り、多文化共生の住みよい地域づくりへの推進事業を行いました。日本語(言葉の壁)や生活習慣の違いに戸惑う外国人住民が、日本への理解を深め、日本の生活習慣に慣れていくため、日本語支援や、地域生活で役立つ多言語による情報の提供、生活の中で直面する問題について相談の場の開設などを行いました。

(1) 日本語学習支援事業

① 日本語学習「いろはクラブ」の運営

市内に在住する外国人が日常生活に必要な日本語を、登録された日本語学習支援ボランティアから、マンツーマンレッスンやグループレッスンで学ぶことができる日本語学習講座「いろはクラブ」について、感染症対策を講じた上で、運営しました。

[開催時期] 7月～3月(新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため7月より開始)

[開催回数] マンツーマンレッスン 延べ約300回

グループレッスン 中止

[開催場所] 複合型交流拠点 ウィズあかし

[指導者] 日本語学習支援ボランティア 61人

[受講者] マンツーマンレッスン 市内在住外国人 65人

② スピーチコンテストの開催

日本語を学んでいる市内在住外国人を対象に、学習の成果を発表する機会として、日本語によるスピーチコンテストの開催を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止しました。

(2) 多言語による情報・相談事業

① 生活情報等の翻訳

市内に在住する外国人への生活面のサポートとして、行政から発信される生活情報等がしっかりと届くように、行政と登録された翻訳・通訳ボランティアを繋ぎ、防災や健康・福祉・保健など、行政からの生活情報等に関するパンフレットやガイドブックなどの外国語への翻訳を支援しました。

[翻訳パンフレット等] 「明石市新型コロナウイルス専用ダイヤルのお知らせ」など

② 生活相談のサポート

市内に在住する外国人からの生活にかかる相談や問い合わせに対して、適切な窓口を紹介し、登録された翻訳・通訳ボランティアを派遣するなど、多言語による生活相談をサポートしました。

[相談事例]

- ・生活保護に関すること
- ・住居や仕事に関すること など

(3) 地域における国際交流事業

① 異文化交流カフェ・異文化交流サロン

市内に在住の外国人の母国の紹介やその国のお茶を楽しむなど、外国人と市民との交流カフェや交流サロンを計画しましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止しました。

② やさしい日本語講座

市内在住外国人等と地域の人々との交流を促進するため、外国人が聞き取りやすい「やさしい日本語講座」の地域での開催を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止しました。

③ ベトナム語を知ろう！講座

明石市内で最も急増しているベトナムの人々への市民の理解を深めるため、ベトナム語を知る（学ぶ）機会としての連続講座を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、内容を変更して、ベトナムに関する国際理解セミナーとして開催しました。

[開催時期] 11月7日(土) 国際理解セミナー『世界を知ろう！ベトナム編』(再掲)

[開催場所] 複合型交流拠点 ウィズあかし

[参加者] 一般市民27名

④ 学校派遣事業

市内在住外国人を講師として学校へ派遣し、子どもたちが講師の出身国について、学び、外国の文化に触れる機会としました。また、「多文化共生」をテーマに、外国人が日本に住んで感じた困ったことや日本の良さなどを知り、地域社会における国際理解の大切さを学ぶ機会としました。

[派遣時期] 11月26日(木) ※1月18日(月) 派遣中止

[派遣先] 県立明石清水高校 人と環境類型クラス

[派遣者数] 市内在住外国出身者3人(韓国、ベトナム、シリア)

[生徒数] 40人

2 その他事業

他1 明石フィルハーモニー支援事業

明石フィルハーモニー管弦楽団及び明石フィルハーモニー・ジュニア・オーケストラが演奏活動やアウトリーチ活動を計画的・効果的に行い、明石フィルハーモニー協会がオーケストラの運営を自主的に行っていけるよう助言するとともに、演奏会場、練習会場、及び楽器倉庫の確保、並びに後援会組織「たこフィル倶楽部」の運営などをサポートしました。

3 財団の管理運営に関する事項

1 理事会の概要

| 開催年月日 | 案件番号 | 案 件 | 可否 |
|-----------------------------|--------------------------------------|--|----------------------|
| 令和2年5月12日 (第32回) 書面決議 | 議案第82号 議案第83号 議案第84号 議案第85号 | 平成31年度 事業報告について 平成31年度 決算報告について 第18回評議員会の開催について 事務局長の選任について | 可決 可決 可決 可決 |
| 令和2年7月22日 (第33回) | 議案第86号 議案第87号 議案第88号 | 理事候補者の推薦について 第19回評議員会の開催について 事務局長の選任について | 可決 可決 可決 |
| 令和2年8月5日 (第34回) | 議案第89号 | 理事長の選定について | 可決 |
| 令和3年3月26日 (第35回) | 議案第90号 議案第91号 | 令和3年度 事業計画について 令和3年度 収支予算について | 可決 可決 |

2 評議員会の概要

| 開催年月日 | 案件番号 | 案 件 | 可否 |
|-----------------------------|----------------------------|--|----------------|
| 令和2年5月29日 (第18回) 書面決議 | 議案第33号 議案第34号 報告第10号 | 平成31年度 決算について 常務理事の報酬等の額について 平成31年度 事業報告について | 可決 可決 了承 |
| 令和2年7月31日 (第19回) | 議案第35号 | 理事の選任について | 可決 |

3 評議員選定委員会の概要

| 開催年月日 | 案件番号 | 案 件 | 可否 |
|-------------------|-------|------------|----|
| 令和2年6月5日 (第7回) | 議案第7号 | 評議員の選任について | 可決 |

4 役員の状況（令和3年3月31日現在）

○理 事

- ・理 事 長 崎野 圭子
- ・常務理事 大西 裕幸
- ・理 事 竹内 隆 藤岡 勝義

○監 事 山本 直樹 箕作 浩志

5 評議員の状況（令和3年3月31日現在）

- 評 議 員 高濱 直子 竹中 信清 藤野 一夫 望月 康恵 中島 真

6 評議員選定委員会の状況（令和3年3月31日現在）

- 委 員 林 祝雄 永田 晋也 柘本 佳子 山本 直樹 黒谷 友紀

7 職員数（令和3年3月31日現在）

○事務局長 1名

○事務局員 10名

8 行政官庁許可事項（届出事項・登記など）

| 異動年月日 | 申請・提出先 | 内 容 |
|-----------|---------|-----------------------|
| 令和2年5月31日 | 神戸地方法務局 | 公益財団法人変更登記申請 |
| 令和2年6月30日 | 兵庫県知事 | 事業報告等の提出 |
| 令和2年7月7日 | 兵庫県知事 | 変更の届出 |
| 令和2年8月5日 | 神戸地方法務局 | 公益財団法人変更登記申請、印鑑（改印）届書 |
| 令和2年9月8日 | 兵庫県知事 | 変更の届出 |
| 令和3年3月30日 | 兵庫県知事 | 事業計画書等の提出 |